

H31年工務系統組織再編！

9月4日、名古屋地本は会社から「在来線工務関係組織の再編及び関連設備の整備について」の会社説明を受けました。内容は、技術の高度化・専門化を踏まえ施設・電気の保守体制を再編していくというものでした。

説明の内容

1. 組織の再編

(1) 概要

- ・専門技術の高度化に対応するため、工務部、工務区を施設、電気に分離する。
- ・管理指導や異常時対応を強化し、より効率的な業務執行体制とするため、現業機関を集約して規模及び配置を最適化する。
- ・以上により安全・安定輸送の強化を図る。

(2) 現改比較

別紙のとおり

(3) 実施時期

非現業（工務部の分離等）	平成31年7月
現業機関（工務区の分離及び電気関係）	平成31年7月
同上（施設）	平成32年7月

2. 関連設備の整備

- ・組織の再編に必要な事務所等の整備及び事務所の移転・集約を実施する。
- ・組織の再編にあわせ、建物の耐震化を行う。

3. 要員増減

別途提示

【主なやりとり】

(組合) 何故、4月の経協で説明しなかったのか。

(会社) 今、まとまった話である。

(組合) 分室というのは支区とは違うものなのか。

(会社) そうである。

(組合) 高度化・専門化とはどういう事なのか。

(会社)より専門的な社員が現場長になる。

(組合)現状で、弊害があったのか。

(会社)弊害ではないが、例えば保線関係の現場長では、電気関係の業務では専門性に乏しかった。責任と権限の明確化を行いメリットを生かす。新幹線では既に行われている。

(組合)一般社員も専門職となるのか。

(会社)現行でも専門である。人事交流もない。

(組合)運輸系統では、駅・車掌・運転士・駅とされ専門性がない。問題でないのか。

(会社)問題ない。

(組合)何カ所、新築するのか。

(会社)静岡を含めて10数カ所である。

(組合)完全に無くなる職場はあるのか。

(会社)例えば、稲沢、大垣電力である。

(組合)会社資料では、新たに増設される箇所がある。要員は増となるのか。

(会社)現段階では増とも減とも言えない。

(組合)組織の再編であり問題が大きい。持ち帰り検討する。以上。

以 上